

# わが校の学力向上の

## 取り組み



大山西小学校

大山西小学校では、算数科を中心に、基礎・基本の確実な定着を図り、考えることが楽しい授業づくりに取り組んでいます。考えることが楽しくなると、学習に対する興味・関心が高まります。そして、児童がより主体的に学ぶようになり、ひいては児童の学力向上につながっていくと考えるからです。

大山西小学校では、算数科を中心に、基礎・基本の確実な定着を図り、考えることが楽しい授業づくりに取り組んでいます。考えることが楽しくなると、学習に対する興味・関心が高まります。そして、児童がより主体的に学ぶようになり、ひいては児童の学力向上につながっていくと考えるからです。

二つ目は、**児童の考えを引き出し、深める学習**の取り組みです。児童は、問題の中に情報が複数あり、その複数の情報を活用しないと解けない問題などに、意欲をもって取り組みます。児童の考えを引き出すため、実生活とつながりのある質の高い課題提示が大切です。

### 子どもの考えを引き出し、深める学習を大切にして

児童が意欲的、主体的になり、算数好きの児童を増やしていくため、三つの取り組みを行っています。

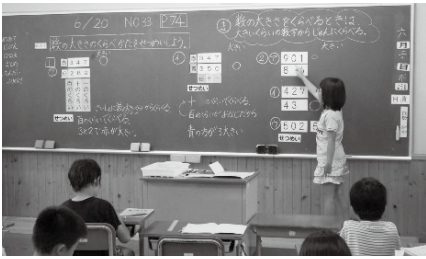
一つ目は、**基礎的・基本的な知識・技能の定着**を図る取り組みです。

教師がいつも心がけているのは、毎時間の学習のねらい（つけたい力）を明確にして授業を行うことです。さらに、45分間の授業内容を確実に定着させるために、授業の終わりに、「まとめ」→「適用題」→「振り返り」を行います。適用題の理解度や振り返りを参考にし、知識・技能の定着

を確認し、次の授業の計画を立てます。

一方で、教師は学ぶ過程を大切に自分の考えを図や式を使って、相手によりわかりやすく伝える方法を教えています。相手にわかりやすく説明することは、考えることや伝えること、この楽しさを味わわせ、達成感や成就感を得ることができ、主体的な学び

二つ目は、**児童の考えを引き出し、深める学習**の取り組みです。児童は、問題の中に情報が複数あり、その複数の情報を活用しないと解けない問題などに、意欲をもって取り組みます。児童の考えを引き出すため、実生活とつながりのある質の高い課題提示が大切です。



▲図や式を使って、説明している児童の様子

へとつながります。

三つ目は、**子どもの言葉を大切に話し合った、話し合い活動**の取り組みです。



▲友達同士で話し合っている様子

友達同士で課題を解決していくことも、児童にとって主体的な学びとなります。友達同士で分からない問題を話し合うことで思考がより広がり、解決の糸口までたどり着いた時、大きな喜びとなります。また、「分からない」と言い合える雰囲気を作成することも大切です。楽しい授業の創造は、児童同士が主役になり、教え合い学び合うことが基本であると考えています。

### 授業時間以外での取り組み

朝の活動として、週に3回、朝読書を15分間行っています。また、毎週火曜日、上学年・下学年に分けて、地域のボランティアの方による本の読み聞かせを行っています。さらに、週2回（水・金）脳トレ学習を10分間行っています。この脳トレ学習は、国語科、算数科を中心に基礎的基本的事項を徹底的に反復し、確実な知識・技能の習

得につなげる目的で行っています。放課後水泳・陸上練習が行われ、11月・12月と1月・2月に、主に3年生以上を対象に、放課後学習を20分間行っています。児童は、今まで学習した基本的な問題から活用問題まで、児童の習熟度に合わせ、国語・算数を中心に復習を行っています。習熟度の違う児童を複数の教師で支援しています。

### 家庭学習の充実

家庭学習では、教師から出される宿題以外に、児童自身が学習内容を考えて行う自主学習があります。その自主学習ノートコンクールを毎学期1回行っています。このコンクールでは、学年ごとに工夫された学習ノートの中から、グランプリ・準グランプリ・優秀賞が選ばれ、毎学期終業式で表彰されます。家庭学習に取り組むことで、基礎的な力や、学習習慣が身に付き、主体的な学び、学力向上につながると考えています。

大山西小学校では、学校教育目標「仲間とともに、目標に向かって主体的に取り組む児童の育成」のもと、これからも学校、保護者、地域が協力し合って、児童の学力向上に取り組んでいきたいと考えています。